



明日を支配する者③(1999年87歳) (明日の生き方、自らをマネジメントする)

5月③のごあいさつ

山内公認会計士事務所

2024年5月21日(火)

これからは自らをマネジメントしなければならない。

自らを最も貢献できるところに位置付け、つねに成長していかなければならない。ナポレオン、レオナルド・ダ・ヴィンチ、モーツァルトのような偉人は、自らをマネジメントした。だからこそ、大きなことができた。これからは彼等を例外としてはならない。

普通の人たちが自らをマネジメントしなければならない。

- (1) 自分は何か。強味は何か。
- (2) 自分は所を得ているか。
- (3) 果たすべき貢献は何か。
- (4) 他との関係において責任は何か。

強味は何か、何事かを成し遂げられるのは、強味によってである。

弱味によって何かを行うことはできない。強味を知る方法はフィードバック分析である。何かをすることを決めたならば、何を期待するかを直ちに書き留めておいて、9ヶ月後、1年後にその期待と実際の結果を照合しなければならない。そして、照合のたびに驚かされるであろう。この方法を実行すれば、二、三年の短期間に自らの強味が何であるかが明らかになる。自分自身について知りうることのうち、この強味こそ最も重要である。

フィードバック分析からわかること。

第1は、強味に集中することである。成果を出すものに強味を集中することである。

第2は、その強味をさらに伸ばすことである。フィードバック分析は、伸ばすべき技能や新たに身につけるべき知識を明らかにする。

第3は、無知の元凶とも言うべき知的な傲慢を正すことである。自己の狭い分野の専門性を鼻にかけてはならない。自己の強味を発揮するうえで必要な知識と技能を身につけていかなければならない。

第4は、自らの悪癖を改めることである。優れた企画ならば、山をも動かすと思ってはならない。山を動かすのはブルドーザーである。

第5は、人への対し方の悪さによって、みすみす成果を上げられなくなることをやめることである。

第6は、行ってはならないことは行わないことである。

第7は、並みの分野での能力向上に無駄な時間を使うことをやめることである。